



2023年4月27日

各 位

会社名 グローリー株式会社
代表者 代表取締役社長 三和元純
本社所在地 兵庫県姫路市下手野一丁目3番1号
コード番号 6457
上場取引所 東証プライム
決算期 3月
問合せ先 経営戦略本部 コーポレートコミュニケーション部長 西田繁信
TEL (079) 297-3131

減損損失及び持分法による投資損失の計上ならびに 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2023年3月期第4四半期会計期間(2023年1月1日～2023年3月31日)において減損損失及び持分法による投資損失を計上するとともに、2023年2月7日に公表の2023年3月期(2022年4月1日～2023年3月31日)の通期連結業績予想を修正することといたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. ERPシステムの一部導入中止に伴う減損損失の計上

当社グループでは、経営資源や情報を一元管理し業務効率の向上を図るERP(Enterprise Resource Planning)システムの導入を進めておりますが、選定した同システムの一部の機能領域において想定通りのパフォーマンスが得られないことが判明したため、該当領域においてはERPを導入せず既存システムに対する機能追加の開発を行う方式に切り替えることといたしました。

これに伴い、今後の使用が見込まれなくなったERP用追加開発ソフトウェア資産等の損失引当及び除却のため、減損損失2,126百万円を特別損失として計上することといたしました。

2. 持分法による投資損失(連結)の計上

(1) 関係会社株式評価損について(個別)

当社の持分法適用会社である2社について、事業環境の変化に伴い計画を保守的に見直した結果、同2社に対する投資の回収時期が株式取得時の想定より延伸することが見込まれるため、関係会社株式評価損2,463百万円を特別損失として計上することといたしました。

なお、関係会社株式評価損は、連結財務諸表上では一旦消去され、連結財務諸表へは下記(2)のとおり持分法による投資損失として計上されます。

(2) 持分法による投資損失について(連結)

2023年3月期の連結決算におきまして、のれん未償却残高のうち上記(1)の評価損に相当する1,779百万円を持分法による投資損失として営業外費用に計上することといたしました。

3. 2023年3月期 連結業績予想数値の修正（2022年4月1日～2023年3月31日）

(1) 修正の内容

（単位：百万円）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|-------------------------|---------|--------|--------|-------------------------|----------------|
| 前回発表予想(A) | 255,000 | △500 | △1,000 | △4,500 | △78円12銭 |
| 今回発表予想(B) | 255,800 | 500 | △2,700 | △9,600 | △168円10銭 |
| 増減額(B-A) | 800 | 1,000 | △1,700 | △5,100 | |
| 増減率(%) | 0.3% | - | - | - | |
| (ご参考)前期実績 (2022年3月期) | 226,562 | 10,297 | 10,507 | 6,509 | 107円65銭 |

(2) 修正の理由

売上高は、概ね2023年2月7日に公表の2023年3月期通期業績予想どおりに推移しており、営業利益は、経費支出の抑制や製品価格の改定により予想を上回り黒字転換する見通しです。一方、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、前述の減損損失及び持分法による投資損失の計上等により予想を下方修正することといたしました。

※ 上記の予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想と異なる結果になる可能性があります。

以上